

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表 (公表)

公表日 令和3年3月31日

事業所名 多機能型重症児デイすいんく

チェック項目	はい	いいえ	職員からの意見	対応
利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		100%	利用者が多い日は狭いと感じる時もありますが、増築予定の為、改善されると思います。	バリアフリーされていますが、スタッフも多いため、フロア全体で利用者とスタッフの総数が20名を超える日が多いです。そのため、非常に狭く感じてしまうのは否めませんでした。
職員の配置数は適切であるか	50%	50%		今年度7月下旬に別棟完成予定なので、それぞれが適切なスペースを保ちながら支援に当たれるよう目指していきます
生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。子供達の活動に合わせた空間となっているか	50%	50%		
業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	50%	50%		PDCAサイクルは一般的に年単位で使用するツールです。職員も業務改善について考えられるよう、研修でケーススタディを実施し、PDCAを活用していきたいと思います。
保護者等向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか	50%	50%		評価表を踏まえ、業務改善に取り組むとともに、今年度は会報・文書を配布し公表しています。
事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	50%	50%		
第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか	50%	50%	今年度はわかりませんが、昨年度はしていたと思います	第三者外部評価は行なっておりません
職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	50%	50%	事業所内勉強会(リハ)勉強になりました	令和2年度は、例年実施している外部研修参加が叶いませんでした。昨今の情勢を踏まえ、事業所内研修を積極的に行なってまいります。
アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成しているか	50%	50%		令和2年度は毎年実施していた面談を中止し、モニタリングシートを配布、記入していただきました。それを踏まえて計画立案・評価し、令和3年度に繋げていきたいと思います。
子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	50%	50%		重症心身障害児においては、標準化されたアセスメントツール作成がありません。

チェック項目	はい	いいえ	職員からの意見	対応
児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要なことも適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	50%	50%		他職種が混在し、同じ目標に向かっていながらも、専門職それぞれの視点で計画立案実行が現実的でした。 令和3年度は、他職種から考えた支援を深く掘り下げ、支援内容ごとにわかりやすく提示していきたいと思います。
児童発達支援計画に沿った支援が行われているか		100%	現在は計画表に沿ってできていません。今後はしていきたいです	
活動プログラムの立案をチームで行っているか		100%		
活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	50%	50%		活動プログラム立案については、職種の偏りがありました。令和3年度は事業所内研修・ケーススタディの開催を積極的に行い、みんなで同じ目標に向かうためにも全職種から意見を聴取し、全員で立案に参画できるようにしてまいります。
子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか		100%		
支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	50%	50%		公休や遅番・早番のスタッフへの伝達方法が確立されておりませんでした。 令和3年度は伝達方法確立し、統一した支援が行えるようにしていきたいと思います。
支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	50%	50%	全員では無理ですが、支援終了後振り返りをしたりしています	
日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか		100%	気付いたことはしていますが、その他はしていないので、今後していきます	職種によって記録方法が統一されていなかったため、令和3年度は支援検証しやすい記録方法を話し合い、実施していきます。
定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか		100%	今年度は難しかったと思います	面談を通してのモニタリングが実施できず、保護者の皆様が抱えている繊細な部分を汲み取るに至りませんでした。令和3年度は見直し可否が全スタッフで判断できるようなツール作成に全員で取り組みたいと思います

チェック項目	はい	いいえ	職員からの意見	対応
障害児支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	50%	50%		
母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	50%	50%	よくわかりません	令和3年度は必要とされる職種スタッフが積極的に会議や関係機関の連携調整が行えるような体制を整えます。 医療的ケア時を受け入れる際は、主治医及び関係機関・保護者・事業所が一体となって、連絡体制を整えてからの利用になっていますが、連携がわかりやすいように、周知徹底が図れる体制を整えてまいります。
(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害児のある子ども等を支援している場合) 地域に保険、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	50%	50%		
(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害児のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	50%	50%		
移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	50%	50%		支援学校入学・卒業時は、各機関と書面を通じて、利用者様が必要としている情報のやり取りをしております。 令和3年度はICT化を促進させ、スタッフが支援時にいつでも利用者様の情報が確認できる体制を順次整えてまいります。
移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	50%	50%		
他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	50%	50%		近隣に重症心身障害児の専門機関がないため、全国重症児者デイサービスネットワークの研修を通じて、資質を上げる取り組みをしています
保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害の子どもと活動する機会があるか		100%	隣のこども園の子、職員と声を掛け合うようになりました。状況がよくなったら、交流が持てると思います	感染症流行状況を踏まえると直接的な交流をする機会が設けられませんでした。
(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議などへ積極的に参加しているか		100%		感染症流行状況を踏まえると、直接的な交流をする機会が設けられませんでした
日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子供の発達や状況や課題について共通理解を持っているか	100%			

チェック項目	はい	いいえ	職員からの意見	対応
保護者の対応力を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	50%	50%		ペアレントトレーニングとは、お子様と意思疎通を図りながら、お子様の言動などに対して支援方法を伝授する方法になりますので、利用されている方々にどのように取り入れていくかは非常に難しい部分があります。
運営規程、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか	50%	50%		重要事項説明および支援に関すること、利用者負担については利用開始時に説明しています。
児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき、作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	50%	50%		多職種が混在し、同じ目標に向かっておりながらも、専門職それぞれの視点で計画を立案し支援しております。令和3年度は、他職種から考えた支援を深く掘り下げ、どのようなことが行われているかわかりやすいように提示をしていきます。
定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	50%	50%		情報発信ごとに、随時悩みや不安などを受付、相談に乗れる態勢を整えていることを保護者の皆様に周知しております。
父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		100%	今年度は出来なくて仕方なかったと思いますが、昨年度から少しずつ行っていたと思います	感染症流行状況を踏まえると、事業所主体となって保護者会開催を促す働きができませんでした。
子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速にかつ適切に対応しているか	100%			保護者様からの意見や苦情に関しては、スタッフに即座に届け、業務改善の必要があると判断される場合は即座に対応できる態勢を整えています。

チェック項目	はい	いいえ	職員からの意見	対応
定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			現在、毎月お便りや随時保護者LINEで情報を発信しておりますが、今後は積極的に活動の様子なども対外的に知っていただけるよう、会報発行も視野に入れて整備していきたいと思えます。
個人情報の取り扱いについて十分注意しているか	100%			個人情報取り扱いについては、必要時話をしておりますが、研修や資料配布などを行い、積極的に啓蒙活動をしていきたいと思えます。
障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			
事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		100%		感染症流行状況を踏まえると、活動する機会が設けられませんでした。
緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	50%	50%		今までもお子様を含めた訓練の実施、マニュアル配布をしてきましたが、今後は毎月定期的に実施し、緊急時に即座に対応できるような実際の場面を想定した本格的な訓練も行なっています
非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	100%			
事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	50%	50%		内服薬の把握、基礎疾患などお子様についての身体的状況把握ができるようにしております。
食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	50%	50%		アレルギー全般、医師の指示に対応できる体制を整えております。
ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	50%	50%		虐待防止研修会実施を積極的に行なっています。
どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	50%	50%		身体拘束は行わない方針ですが、必要時には事前に説明し、了解を得てから実施をする体制を整えております。